

## 池上正治（いけがみしょうじ）先生のプロフィール

1946年新潟県生まれ東京外語大学中国科卒業。作家・翻訳家。

中国に関する著述・翻訳・講演のかたわら、東アジアの交流（文化・医療など）にも務める。著書に、『徐福』、『気』の3部作、『天津』、『龍と人の文化史百科』、『世界の花蓮図鑑』（共著）など。訳書に、『徐福と始皇帝』、『徐福 霧のかなたへ』、『中国慈城の餅文化』、『チベット』など。総計六十余冊。

### 著書『徐福』の紹介

『徐福 日中韓をむすんだ「幻」のエリート集団』原書房 2007年

内容（「BOOK」データベースより）

2300年前、秦の始皇帝の命により神薬を求めて、「徐福」が日本にやって来た。大陸からの出航は、熟練の技術者集団の百工と童男童女を引き連れ、旅団は韓国済州島を経由し、日本へたどり着く。佐賀、和歌山、山梨など各地で神として祀られ、韓国に軌跡を残し、中国出航の地で現在も帰郷を待つ祭りでのばれる徐福とはいったい何者だったのか？未知の東渡に挑んだ真の目的とは？独裁者からの亡命か？何を求めて日本で果てたのだろうか。2300年をへだてて、徐福伝承は史実として解き明かされはじめる。

